

勿凝学問 319

なにやら新しい政党が結成されたようだけど、どこまで本気なのやらだな

2010年6月22日閣議決定「財政運営戦略」をながめて

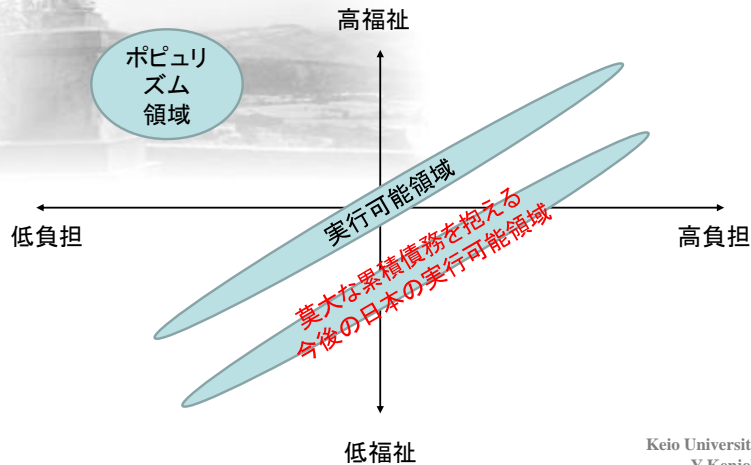
2010年6月29日

慶應義塾大学 商学部

教授 権丈善一

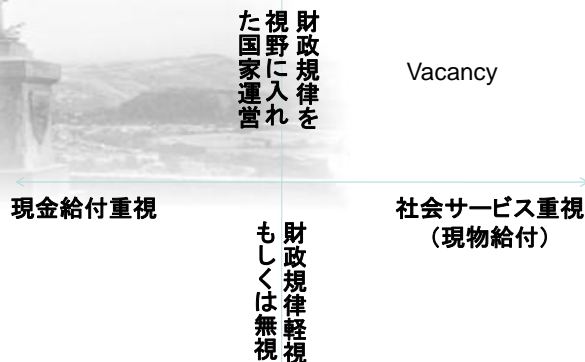
政界マップを描く座標軸として、僕が使う次の図はよく引用される。

社会保障政策に関する 国民負担率決定論



でも、僕としては、「勿凝学問 257 [小選挙区とは一神教だよ](#)」に書いている次の座標軸の方が、重要なんだよね。

日本が低福祉であることは不可能
日本では保守と言えども、英国の労働党、米国の民主党とも微妙な位置、いや、部分的にはそれよりもリベラル



小さな政府路線を指向する米国の共和党、英国のサッチャー時代の保守党は、フリードマン『選択の自由』やハイエク『隷従への道』の世界。保守政権の下でも世界に誇れる国民皆年金・皆保険制度を作る日本では、小さな政府路線は多数派にはなり得まい。

ところで、先週の2010年6月22日に閣議決定された「[財政運営戦略](#)」の中には、次の文章がある。

社会保障分野における選択と集中を進め、例えば現金給付から雇用創出効果のある現物給付に重点を移すなどにより、消費や雇用の拡大等、経済成長に与える効果の高い施策に資源配分を重点化していくことが重要である。

こうした社会保障関係の施策を実施する場合は、制度への安心感・信頼感を高め、維持するために、その財源は、国債発行によるのではなく、安定的な財源を確保する必要がある。

僕はこれまで、先の図を示しながら、社会サービス（現物給付）を重視し、財政規律を視野に入れた国家運営を行う第1象限は、日本の政界では空室あり（vacancy）と話し、いろんな政党に呼ばれた時も、「この陣地を先取りしませんか？」とっていたわけだけど、「財政運営戦略」に書いてあることは、第1象限に位置する政党が書くべきことである。んっ？ 新党の決議大会もなされないままに、新しい政党が結成されたのか？ と言っても、どこまで本気なのやら、なんだな、これが。

ちなみに、現与党の民主党って政党は、現金給付を重視し、財政規律を無視した国家運営が大好きな第3象限の位置に立って、昨年、国民から選ばれたんだからねえ——だいたいもって、その第3象限にいる民主党の位置を批判するために、僕は先の図を作ったわけだしな（笑）。

先日、「[21世紀の西南戦争](#)は、政府軍が勝ったと考えていいんですか？」と問われたから、僕は、「まだまだ、わかんないよ。19世紀の西南戦争と違って敗軍の将は生きているから、これから日本中から不平不満分子たちを集めにかかるだろうからね」と答えたんだけど、次の記事なんかをみると、やっぱりだなという感じだ。

- [怒りおさまらぬ小沢氏 “対決宣言”](#) msn 産経ニュース
- [民主玄葉氏、小沢氏の執行部批判に「チーム一丸で戦うべきだ」](#) 日経新聞